



日章学園九州国際高等学校校長便り 睦月
 建学の精神：道義に徹し、実利を図り、勤労を愛す
 学園スローガン：**継続は力なり**
 学校教育目標：国際的視野と人間性豊かな心を持ち、自ら学び考え、自己の課題を解決できる生徒を育成する。
 令和5年(2023年)1月10日(火)校長 屋田伸仁



飛鳥走兔



明けましておめでとうございます。今年は卯年。ウサギに関する四字熟語をネット検索していると、「**飛鳥走兔**」が出てきました。「兔」は月に住むウサギ。「鳥」は太陽に住む三本足の金色のカラス。月日が慌ただしく過ぎていく、光陰矢の如しの喻えらしい。長らく学校現場を経験していると、年始めの祝賀ムードが終わると、一気に時間が過ぎていくのを感じます。本校でも、3年生は2月から約1ヶ月間の自宅学習期間に入ります。そして、3月2日はいよいよ卒業式です。月にちなんで、よく言われるのが、「**1月は行く、2月は逃げる、3月は去る。**」です。英語でも、「**Time flies.**」(時は飛び去る)と言います。

あっという間に、時間に逃げ去られた。あの時、あれをやっておけばよかったと後になってから悔しい思いをしないように、今から残り少ない時間を計画的に有効に使いましょう。

1, 2年生は、1年間のまとめと新年度の準備を始めてください。3年生は、卒業、そして進学、就職、留学生は大学進学へと、「**未来に飛躍する年**」です。ウサギは後ろ足に力を溜めてから、ピョンピョンと前に勢いよく跳躍します。皆さんも自分の意や思いを強くして、夢や目標に向かって力強く、大きく飛躍しましょう！



継続は力なり



1月5日(木)は、学校法人日章学園の安全祈願祭が行われました。そこで、後藤洋一理事長が今年の学園スローガンを発表されました。「**継続は力なり**」です。言葉の由来は、諸説あるようですが、明治から昭和にかけて活躍した広島県の教育者、宗教家の**住岡夜晃(すみおかやこう)**の言葉が有力視されているようだ。「**継続は力なり**」は「**讚嘆の詩**」の中の一部から引用されています。この「**讚嘆の詩**」は青年に強く、たくましく生き抜いてほしいという願いが心深くまで沁み入る詩です。ここで紹介します。



青年よ強くなれ
 牛のごとく、象のごとく、強くなれ
 真に強いとは、一道を生きぬくことである
 性格の弱さ悲しむなかれ
 性格の強さ必ずしも誇るに足らず
 「**念願は人格を決定す 継続は力なり**」
 真の強さは正しい念願を貫くにある
 怒って腕力をふるうがごときは弱者の至れるものである
 悪友の誘惑によって墮落するがごときは弱者の標本である
 青年よ強くなれ 大きくなれ

ファイト!



「**継続は力なり**」は、最初はどううまく行かない場合でも、繰り返すことによって、上手になり、大きな力となり、大きな成果が生まれるということです。それは、勉強然り、ボランティア活動然り、スポーツ然りです。「**継続は力なり**」の言葉もその意味する大切な事柄も、既にわかっている人は多いと思います。反対に、続けて実行することの難しさの方が、実体験でズシーンと感じているかもしれません。年始に当たり、今年の学園スローガンを今一度改めて、自分なりに咀嚼し直し、しっかり自家薬籠しましょう！そして、今年「**継続は力なり**」の精神で、成果や成功を絶対につかむ年にしましょう！